

大町市学校再編基本計画（案）に関するパブリックコメントの結果

No.	意見要旨	市の考え方等
1	<p>再編により一緒になる最初の中学校3年生は、旧学校の担任・クラス編成のままにしてほしい。</p> <p>これから1年半で再編することに不安である。説明会への保護者の参加が少ない。保護者向けの説明会を開催し要望などを聞いてほしい。保護者に関心を持ってもらい参加しやすい環境づくりをお願いしたい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後具体的に進めて参ります再編準備委員会等で参考にさせていただきます。</p> <p>市では、これまでも急激に進む少子化に対応し「協働の学び」を指導の根幹に据えて様々な施策を進めてきましたが、一方で、こうした施策全体について平成30年度から始まった「少子化社会における義務教育のあり方検討委員会」で2年間弱の期間を掛けて検討いただき、市広報紙の情報提供をはじめ市民説明会等を開催したり、PTA組織等の各団体の要望に応じて懇談等を実施するなど、丁寧に時間をかけて検討してきた内容等を随時お知らせしてまいりました。</p> <p>今後も具体的な準備を進めていく中では、市民の皆様に関心を持ってご意見いただけるように様々な情報提供に努めるとともに、説明会等においては参加しやすい状況となるよう開催時間等に配慮してまいりたいと考えております。</p>
2	<p>一中または西小の選定について、市民や保護者の意見を聞いて決めてほしい。納得いく内容を示してほしい。西小を使用する方が、小学校としての子どもたちの教育環境から望ましい。</p>	<p>大町・平地区の小学校校地の選定にあたり、様々な視点からご意見を賜り感謝申し上げます。候補地について、それぞれ良い点または課題となる点等ご指摘やご意見等をいただいております。</p> <p>皆様からいただいたご意見等を参考とさせていただき、子どもたちにとって良好な教育環境を第一に考え、様々な教育的観点を総合的に判断し校地を決定してまいりたいと考えております。</p> <p>また、今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子供たちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいりたいと考えております。</p>
3	<p>東小の子どもが分かれることが無いよう、行政区ではなく、学校ごとで。子どもの気持ちを一番に考えてほしい。</p> <p>形だけの周知や意見募集でなく、再編を進めてほしい。また、学校再編の情報がやっと伝わってきた状況である。対象者にアンケートをとって進めてほしい。</p>	<p>平成30年度から始まった「少子化社会における義務教育のあり方検討委員会」で、約2年を掛けて教育環境及び教育行政上の課題など様々な視点や観点から検討いただき提言されたものでありますので、ご理解いただきたいと存じます。</p> <p>少子化社会における義務教育のあり方検討委員会で、保護者や教職員、学校運営協議会などから意見聴取したり、市民や保護者へアンケートを実施し、義務教育のあり方に関し状況把握してきております。また、これまでの取り組みについては、市広報紙での情報提供をはじめ市民説明会等を開催したり、PTA組織等の各団体の要望に応じて懇談等を実施するなど、丁寧に時間をかけて随時お知らせしてまいりました。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子供たちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいりたいと考えております。</p>

4	<p>令和7年にしたら、生徒の数も減り、理科室不足等、色んな問題が少なくなると聞いた。令和7年からではダメか。</p>	<p>中学校両校で協議し「生徒数・学級数の推移」「授業持ち時間数」「仁科台中学校位置図」「時間割先生一覧」等をシミュレーションしたほか、県内同規模校の「理科室数」の調査を行い改めて検討し、両校のご意見を伺っており教育委員会としても普通教室や時数に余裕のある特別教室の活用による工夫で、教室数の対応は可能と考えております。</p> <p>また、現状のまま中学校を維持すると、生徒数の減少に伴い教員配置数も減少することとなり、教員の負担が大きくなることが懸念されます。現状においても市で配置している不登校等の支援員が、教科の資格を持つことから授業の一部を受け持つなど教科担任の不足を補っております。今後、さらに配置数減となれば深刻な状況となり、教科担任でない教員による授業が生じてくるなど、教室不足以前に、教員不足の事態を招きかねない状況となることが考えられます。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子もたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいります。</p>
5	<p>南小学校の児童クラブは、利用人数の割に場所が狭い、再編で利用人数が増えることや、線路を渡っての移動も心配であるので小学校を利用できないか。また、下校後、常盤公民館を利用している児童がいるが、見ている人がいないので怪我など心配である。</p> <p>支援学級で少人数指導が必要な児童がいるので、教室や教員の確保をお願いしたい。</p>	<p>学校再編による影響を受けることが見込まれますので、今後具体的に学校再編の準備を進めるにあたり担当課と検討させていただきます。下校時の公民館利用については、利用ルールを十分確認いただくとともに、安心安全に利用いただけるよう、今後も十分配慮に努めてまいります。</p> <p>貴重なご意見として、今後具体的に進めて参ります再編準備委員会等で検討させていただきます。今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子もたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう努めてまいります。</p>
6	<p>市民説明会等から「説明不足、理解が進んでいない」と思うので、学校再編を進めることに疑問である。教育ビジョンを考え直し、現状維持を含め保護者理解を求めることを望む。少人数学校・学級を生かす教育の追求と少子化対策を併せて進めてほしい。</p>	<p>市では、これまでも急激に進む少子化に対応し「協働の学び」を指導の根幹に据えて様々な施策を進めてきましたが、一方で、こうした施策全体について平成30年度から始まった「少子化社会における義務教育のあり方検討委員会」で2年間弱の期間を掛けて検討いただき、市広報紙の情報提供をはじめ市民説明会等を開催したり、PTA組織等の各団体の要望に応じて懇談等を実施するなど、丁寧に時間をかけて検討してきた内容等を随時お知らせしてまいりました。</p> <p>また、同あり方検討委員会では、保護者や教職員、学校運営協議会などから意見聴取したり、市民や保護者へアンケートを実施し、義務教育のあり方に関し状況把握に努めるとともに、現在の教育環境及び教育行政上の課題など踏まえて検討し、大町市のこれからの義務教育について提言されました。</p> <p>この提言と通学区域再編審議会からの答申を重く受け止めて、学校再編基本計画を策定するものでありますことをご理解いただきたいと思います。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子もたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいります。</p>

	<p>学校再編のために、教職員に超過勤務が生じない方策を計画に明示すべき。または本計画案に教職員の働き方を入れるのがなじまない時は超過勤務を生じさせないとする明確な教育委員会としての意思表示をしてほしい。</p>	<p>学校再編基本計画は、これまで検討いただいた内容を取りまとめて基本的事項を示すものであります。ご提案の内容は計画に携わる職員の労働条件に関するものですので、担当する教員の増員等を検討しておりますが、計画に明示することは適切でないことをご理解いただきたいと存じます。</p>
	<p>市民説明会で学校職員の意見を聞くと回答があったので、機会を設けてほしい。</p>	<p>これまでも学校を通して意見を伺ってきたほか、学校訪問等での職員面談の際にも率直にご意見を伺ってきたところであります。また、中学校については、校長・教頭・教務主任の合同会を開催し、両校内でも一致して令和5年の開校を求めていることもお聞きしております。今後も、学校再編を進めるにあたり、現場の職員の皆様からご意見を賜り検討してまいりたいと考えております。</p>
7	<p>理科室や体育館などの時間割が心配。普通教室等を使う対応であれば保護者に説明して理解を得るようにしてほしい。理科室不足の解消の方法を現場にも教えてほしい。</p>	<p>中学校両校で協議し「生徒数・学級数の推移」「授業持ち時間数」「仁科台中学校位置図」「時間割先生一覧」等をシミュレーションしたほか、県内同規模校の「理科室数」の調査を行い改めて検討し、両校のご意見を伺っており教育委員会としても普通教室や時数に余裕のある特別教室の活用による工夫で、教室数の対応は可能と考えております。</p> <p>また、現状のまま中学校を維持すると、生徒数の減少に伴い教員配置数も減少することとなり、教員の負担が大きくなることが懸念されます。現状においても市で配置している不登校等の支援員が、教科の資格を持つことから授業の一部を受け持つなど教科担任の不足を補っております。今後、さらに配置数減となれば深刻な状況となり、教科担任でない教員による授業が生じてくるなど、教員不足の事態を招きかねない状況となることが考えられます。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子もたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいりたいと考えております。</p>
8	<p>大町市の学校教育の基本理念が見えません。</p>	<p>急激な少子化社会の進行に伴い、コミュニティスクールの推進や特認校制度、小中高連携（一貫）教育など様々な施策に取り組んできましたが、これらについて総合的に検討いただくために設けた「少子化社会における義務教育のあり方検討委員会」で、保護者や教職員、学校運営協議会などから意見聴取したり、市民や保護者へアンケートを実施し、義務教育のあり方に関し状況把握に努め、併せて現在の教育環境及び教育行政上の課題など踏まえて、約2年を掛けて検討を重ね大町市のこれからの義務教育について提言されました。今回の学校再編基本計画では、同あり方検討委員会からの提言を受けて通学区域再編審議会で学校再編に関して具体的内容を審議し答申をいただいた事項を基本方針として取りまとめているものであります。学校再編基本計画は、あくまで学校再編の基本的事項を取りまとめて示した計画であるため、市の学校教育の基本理念については、本年度、市の第5次総合計画後期計画に併せて大綱を策定することとしております。</p>

<p>「中学校再編」令和5年、「小学校再編」令和7年の根拠が見えません。</p>	<p>再編の時期については、通学区域再編審議会への諮問事項に掲げ審議いただき答申いただいたことが大きな理由です。また審議会の検討において、現在の教育環境及び課題の状況把握をいただく中で、現状のままで中学校を維持すると、生徒数の減少に伴い教員配置数も減少することとなり、教員の負担が大きくなることが懸念されること。さらに現状においても市で配置している不登校等の支援員が、教科の資格を持つことから授業の一部を受け持つなど教科担任が不足していること。これら喫緊の課題を早期に解消するために、最終的に中学校は令和5年度を目途とするので方針が示されたものであります。</p>
<p>中学校の統合を令和7年に、せめて令和6年にスタートしてほしい。</p>	<p>通学区域再編審議会からの答申を尊重し、学校再編を進めてまいりたいと考えております。</p>
<p>大町地区の小学校は、大町西小学校が適当。</p>	<p>大町・平地区の小学校校地の選定にあたっては、候補地について、それぞれ良い点または課題となる点等ご指摘やご意見等をいただいております。皆様からいただいたご意見等を参考とさせていただき、子どもたちにとって良好な教育環境を第一に考え、様々な教育的観点を総合的に判断し校地を決定してまいりたいと考えております。</p>
<p>小学校低学年の子どもたちの学びの充実を。</p>	<p>学校再編による影響を鑑み、特に小学校低学年の子どもたちの学びについて様々な視点からご意見を賜り感謝申し上げます。貴重なご意見として、今後具体的に進めて参ります再編準備委員会等で検討させていただきます。また、大町市立義務教育学校のご提案については、義務教育のあり方検討委員会や通学区域再編審議会で広範な見地から検討いただいた中で、提言や答申がされ学校再編計画を策定しているものでありますので、今回の計画としては、ご提案に沿う検討はできないことをご理解いただきたいと思います。</p>
<p>大町地区の小学校と常盤地区の小学校の格差が生じないよう配慮してほしい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後具体的に進めて参ります再編準備委員会等で参考にさせていただきます。</p>
<p>9</p>	<p>中学校の令和5年は性急。準備期間が短く生徒が心配。校名、学校運営などで先生方が忙しくなり子どもに目が行き届かなくなるのか。保護者の不安が心配。1～2年延期して議論してほしい。</p> <p>東小学校の児童がバス通学になるのは大きな問題。保護者が安心できる方法を。統合しないで済む方法はないか。</p> <p>現状のままで中学校を維持すると、生徒数の減少に伴い教員配置数も減少することとなり、教員の負担が大きくなる懸念されています。現状においても市で配置している不登校等の支援員が、教科の資格を持つことから授業の一部を受け持つなど教科担任の不足を補っております。今後、さらに配置数減となれば教科担任でない教員による授業が生じる状況となることが考えられます。</p> <p>学校再編に取り組むにあたっては、担当する教員の配置を要望しており、学校再編によって生じる業務の負担軽減となるよう努め、大町の子どもたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>東小学校や北小学校でスクールバス通学を行っているので、運用状況を参考に、今後具体的に進めて参ります再編準備委員会等で検討させていただきます。</p> <p>義務教育のあり方検討委員会や通学区域再編審議会で、長い年月をかけて広範な見地から検討いただき、提言や答申がされたものでありますことをご理解いただきたいと思います。</p>
<p>10</p>	<p>急がず、子どものことをしっかり見て考え、皆が納得するようじっくり議論してほしい。また、社からの通学は大変なので、社公民館を利用</p> <p>市では、これまでも急激に進む少子化に対応し「協働の学び」を指導の根幹に据えて様々な施策を進めてきましたが、一方で、こうした施策全体について平成30年度から始まった「少子化社会における義務教育のあり方検討委員</p>

	<p>して分校を作ってはいかがか。</p>	<p>会」で2年間弱の期間を掛けて検討いただき、市広報紙の情報提供をはじめ市民説明会等を開催したり、PTA組織等の各団体の要望に応じて懇談等を実施するなど、丁寧に時間をかけて検討してきた内容等を随時お知らせしてまいりました。</p> <p>また、同あり方検討委員会では、保護者や教職員、学校運営協議会などから意見聴取したり、市民や保護者へアンケートを実施し、義務教育のあり方に関し状況把握に努めるとともに、現在の教育環境及び教育行政上の課題など踏まえて検討し、大町市のこれからの義務教育について提言されました。</p> <p>この提言と通学区域再編審議会からの答申を重く受け止めて、学校再編基本計画を策定するものでありますことをご理解いただきたいと思います。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子どもたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいります。</p>
11	<p>西小との再編は仕方がない事だと思うが、校舎は一中の利用が、通学距離を考えると妥当だと思う。西小の歴史云々の意見は無視して欲しい。また、北小の後利用も気になる。避難所としての役割を地域住民として感じている。</p>	<p>大町・平地区の小学校校地の選定にあたっては、候補地について、それぞれ良い点または課題となる点等ご指摘やご意見等をいただいております。</p> <p>皆様からいただいたご意見等を参考とさせていただき、子どもたちにとって良好な教育環境を第一に考え、様々な教育的観点を総合的に判断し校地を決定してまいりたいと考えております。</p> <p>また、跡施設の利用について避難所としてのご提案をいただき感謝申し上げます。北小学校をはじめ使用されなくなる校地・校舎については、地域の皆様からのご意見やご要望等を伺いながら、跡利用を十分検討してまいりたいと考えております。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子どもたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、市民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいります。</p>
12	<p>中学の統合時期が早すぎる。子どもたちに影響があることは避けてほしい。違う学校の子どもたちが一緒になるときは、トラブルが起きやすい。せめて、2年前から部活動など一緒に行うなど関係性を作ってからにしてほしい。受験生が心配。子どもは繊細であるので、時間をかけて準備をしてほしい。</p>	<p>現状のまま中学校を維持すると、生徒数の減少に伴い教員配置数も減少することとなり、教員の負担が大きくなることが懸念されています。現状においても市で配置している不登校等の支援員が、教科の資格を持つことから授業の一部を受け持つなど教科担任の不足を補っております。今後、さらに配置数減となれば教科担任でない教員による授業が生じる状況となることが考えられます。</p> <p>学校再編に取り組むにあたっては、担当する教員の配置を要望しており、学校再編によって生じる業務の負担軽減となるよう努め、大町の子どもたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいります。</p>
	<p>歴史的な背景から西小が良い。</p>	<p>大町・平地区の小学校校地の選定にあたっては、候補地について、それぞれ良い点または課題となる点等ご指摘やご意見等をいただいております。皆様からいただいたご意見等を参考とさせていただき、子どもたちにとって良好な教育環境を第一に考え、様々な教育的観点を総合的に判断し校地を決定してまいりたいと考えております。</p>

13	<p>学校再編を急ぎすぎである。学校が地域から無くなる、登下校・クラス編成など問題が山積している。子どもや保護者の声を拾って進めてほしい。少人数学級で子どもも先生も余裕をもって目の行き届く教育をしてほしい。移住政策でも徒歩通学が重要である。子どものことを考えて進めてほしい。</p>	<p>市では、これまでも急激に進む少子化に対応し「協働の学び」を指導の根幹に据えて様々な施策を進めてきましたが、一方で、こうした施策全体について平成30年度から始まった「少子化社会における義務教育のあり方検討委員会」で2年間弱の期間を掛けて検討いただき、市広報紙の情報提供をはじめ市民説明会等を開催したり、PTA組織等の各団体の要望に応じて懇談等を実施するなど、丁寧に時間をかけて検討してきた内容等を随時お知らせしてまいりました。</p> <p>また、同あり方検討委員会では、保護者や教職員、学校運営協議会などから意見聴取したり、市民や保護者へアンケートを実施し、義務教育のあり方に関し状況把握に努めるとともに、現在の教育環境及び教育行政上の課題など踏まえて検討し、大町市のこれからの義務教育について提言されました。</p> <p>この提言と通学区域再編審議会からの答申を重く受け止めて、学校再編基本計画を策定するものでありますことをご理解いただきたいと思います。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子もたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいりたいと考えております。</p>
14	<p>保護者からの意見が少ない。学校・学級単位でのPTAの話し合いが必要と思う。</p> <p>中学校は教室の増改築、学校運営等、教職員の負担も大きな問題と思う。もっと時間をかけて準備すべきではないか。</p>	<p>平成30年度から始まった「少子化社会における義務教育のあり方検討委員会」で、保護者や教職員、学校運営協議会などから意見聴取したり、市民や保護者へアンケートを実施し、義務教育のあり方に関し状況把握してきております。また、これまでの取り組みについては、市広報紙での情報提供をはじめ市民説明会等を開催したり、PTA組織等の各団体の要望に応じて懇談等を実施するなど、丁寧に時間をかけて随時お知らせしてまいりました。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子もたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、市民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>現状のまま中学校を維持すると、生徒数の減少に伴い教員配置数も減少することとなり、教員の負担が大きくなることが懸念されています。現状においても市で配置している不登校等の支援員が、教科の資格を持つことから授業の一部を受け持つなど教科担任の不足を補っております。今後、さらに配置数減となれば教科担任でない教員による授業が生じる状況となることが考えられます。</p> <p>学校再編に取り組むにあたっては、担当する教員の配置を要望しており、学校再編によって生じる業務の負担軽減となるよう努めてまいりたいと考えております。</p>
15	<p>地域から学校が無くなるのは、老若男女、地域での生活に影響がある。登下校で姿を見られなくなる。声掛けができない。新学期や夏休みの状況もわからなくなり、通学路の草を刈る気もなくなる。運動会・練習の声が聞こえなくなる。地域で育成する意識も薄れる。大人同士の交流もなくなり、地域コミュニティが減退する。</p>	<p>地域の拠点・精神的拠り所という側面を学校が持つことは、十分理解されますが学校は本来義務教育のための施設であり、子どもの学習の場としての機能を高めていくことを第一に考えることが必要です。その上で、子どもたちを学校教育において、たくましく成長していくことが、何よりも市の将来の発展に繋がるので、学校を再編した後、新しい学校と地域住民の繋がりを住民参加でどのように作り上げていくかが大事と考えております。ご理解いただきたいと思います。</p>

	<p>少人数から大人数にする単純な発想でなく、地域における学校の役割等を考慮してほしい。今、どうしても必要な事か。</p>	<p>市では、これまでも急激に進む少子化に対応し「協働の学び」を指導の根幹に据えて様々な施策を進めてきましたが、一方で、こうした施策全体について平成30年度から始まった「少子化社会における義務教育のあり方検討委員会」で2年間弱の期間を掛けて検討を重ねていただきました。</p> <p>同あり方検討委員会では、保護者や教職員、学校運営協議会などから意見聴取したり、市民や保護者へアンケートを実施し、義務教育のあり方に関し状況把握に努めるとともに、現在の教育環境及び教育行政上の課題など踏まえて検討し、大町市のこれからの義務教育について提言されました。</p> <p>この提言と通学区域再編審議会からの答申を重く受け止めて、学校再編基本計画を策定するものでありますことをご理解いただきたいと存じます。</p>
16	<p>少子化で統廃合することは反対である。20人程度の少人数学級を進めた方が、先生も全員に目が行き届く。教師不足は、国・県の言いなりになるのではなく、子どもたちの立場を考えて、国・県に意見するような自治体になってほしい。</p>	<p>市では、これまでも急激に進む少子化に対応し「協働の学び」を指導の根幹に据えて様々な施策を進めてきましたが、一方で、こうした施策全体について平成30年度から始まった「少子化社会における義務教育のあり方検討委員会」で2年間弱の期間を掛けて検討を重ねていただきました。</p> <p>同あり方検討委員会では、保護者や教職員、学校運営協議会などから意見聴取したり、市民や保護者へアンケートを実施し、義務教育のあり方に関し状況把握に努めるとともに、現在の教育環境及び教育行政上の課題など踏まえて検討し、大町市のこれからの義務教育について提言されました。</p> <p>この提言と通学区域再編審議会からの答申を重く受け止めて、学校再編基本計画を策定するものでありますことをご理解いただきたいと存じます。</p>
	<p>保護者、先生、子どもの意見をもっと聞いてほしい。</p>	<p>市では、これまでも市広報紙の情報提供をはじめ市民説明会等を開催したり、PTA組織等の各団体の要望に応じて懇談等を実施するなど、丁寧に時間をかけて検討してきた内容等を随時お知らせしてまいりました。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子どもたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいりたいと考えております。</p>
17	<p>教育委員会の意思決定のプロセスを明確にしてほしい。資料・議事録を公開してほしい。</p> <p>西小を活用することが適当であること。大町の特徴ある魅力的な教育を考えること。一中は跡利用で転用しやすい。学校の歴史事実に向けられること。</p>	<p>義務教育のあり方の検討委員会から通学区域再編審議会までの検討経過は、市広報紙をはじめ市民説明会等を開催したり、PTA組織等の各団体の要望に応じて懇談等を実施するなど、丁寧に時間をかけて検討してきた内容等を随時お知らせしてまいりました。また、教育委員会での学校再編に関する協議状況は、定例教育委員会での議事録で公開しているほか、今回の学校再編基本計画（案）にも掲載しているとおりであります。</p> <p>大町・平地区の小中学校校地の選定にあたり、様々な視点からご意見を賜り感謝申し上げます。本校地の選定にあたっては、候補地について、それぞれ良い点または課題となる点等ご指摘やご意見をいただいております。</p> <p>皆様からいただいたご意見等を参考とさせていただきます、子どもたちにとって良好な教育環境を第一に考え、様々な教育的観点を総合的に判断し校地を決定してまいりたいと考えております。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子どもたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先</p>

		先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいりたいと考えております。
18	<p>岳陽高校も再編で良い面、悪い面があった。施設的に良くなった。クラブも幅広く活躍している。魅力ある高校になってほしい。中学校統合は致し方ない。中学校は、通学方法や施設的に仁科台が最適である。小学校は、一中が良い。大町・平地区の徒歩通学を考えると良い。西公園、図書館にも近い。災害の面からも安心できる施設。グラウンドが狭いので、テニスコートは別に確保してほしい。公園や市住宅等必要な施設を、地域全体を含めて総合的な計画をお願いしたい。</p>	<p>大町・平地区の小中学校校地の選定にあたっては、候補地について、それぞれ良い点または課題となる点等ご指摘やご意見等をいただいております。皆様からいただいたご意見等を参考とさせていただき、子どもたちにとって良好な教育環境を第一に考え、様々な教育的観点を総合的に判断し校地を決定してまいりたいと考えております。</p> <p>また、改修のご意見等につきましては、校地が選定後に具体的に進めてまいります再編準備委員会等で検討させていただきます。今後も皆様のご意見等を丁寧に向いながら、大町の子どものためにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、市民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいりたいと考えております。</p>
19	<p>現場の先生の受け止めはどうか。現場での検討が必要と考える。</p>	<p>これまでも学校を通して意見を伺ってきたほか、学校訪問等での職員面談の際にも率直にご意見を伺ってきたところであります。今後も職員の皆様からご意見を賜り参考にしたいと考えております。</p>
	<p>説明会で出た保護者の意見を踏まえ、多くの保護者の参加を得られるよう工夫し議論の場が必要である。</p>	<p>平成30年に始まった「少子化社会における義務教育のあり方検討委員会」では、保護者や教職員、学校運営協議会などから意見聴取したり、市民や保護者へアンケートを実施してきております。また、PTA組織や保育園保護者会等の各団体の要望に応じて懇談等を実施したり、PTA総会時にも説明の場を設けていただき、ご意見を伺っているところであります。今後も多くの機会を設けて説明に努めてまいりたいと考えております。</p>
	<p>社地区のバス通学で、下校時の本数は。バス通により活動に制限が生じるのではないかと。放課後の先生と触れ合いは可能か。下校時の生徒同士の触れ合いは人間形成に欠かせない。1時間のバス通では無理である。</p>	<p>バス通学に関し様々な視点からご意見等を賜り感謝申し上げます。東小学校や北小学校でスクールバス通学を行っているため、運用状況を参考に、今後具体的に進めて参ります再編準備委員会等で検討させていただきます。</p>
	<p>少人数学級の方が、研究結果からも良い、教師が一人一人と向き合うことができ、学力向上になる。学級もお互いリスペクトし、のびのび学び合える。学校教育のあり方がどうあるべきか議論が必要である。学校が面白くないという意見があったが、そこを検証しないまま再編では問題が大きくなりかねない。</p>	<p>市では、これまでも急激に進む少子化に対応し「協働の学び」を指導の根幹に据えて様々な施策を進めてきましたが、一方で、こうした施策全体について平成30年度から始まったあり方検討委員会で2年間弱の期間を要し検討いただき、大町市のこれからの義務教育について提言されました。</p> <p>この提言と通学区域再編審議会からの答申を重く受け止めて、学校再編基本計画を策定するものでありますことをご理解いただきたいと思います。</p>
	<p>実施時期などを再検討してほしい。</p>	<p>現状のままで中学校を維持すると、生徒数の減少に伴い教員配置数も減少することとなり、教員の負担が大きくなることが懸念されています。現状においても市で配置している不登校等の支援員が、教科の資格を持つことから授業の一部を受け持つなど教科担任の不足を補っております。今後、さらに配置数減となれば教科担任でない教員による授業が生じる状況となることが考えられます。</p>
20	<p>西小より一中が優れているのは、施設が新しいだけである。そのみで校地校舎を決めるのはいかがか。花壇や畑づくり、トトロの森散策、校内を流れる川、樹齢何十年の老木</p>	<p>大町・平地区の小中学校校地の選定にあたり、様々な視点からご意見を賜り感謝申し上げます。本校地の選定にあたっては、候補地について、それぞれ良い点または課題となる点等ご指摘やご意見等をいただいております。</p> <p>皆様からいただいたご意見等を参考とさせていただき、</p>

	<p>など豊かな自然環境がさまざま知識を身に付ける要素である。一中では、この学習環境は無理である。立地条件にも心配がある。</p>	<p>子どもたちにとって良好な教育環境を第一に考え、様々な教育的観点を総合的に判断し校地を決定してまいりたいと考えております。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子どもたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいりたいと考えております。</p>
21	<p>学校再編は特色ある教育環境の転換の好機であるが、校地や統合年が論点で教育理念等の話がない。通学の不安などあるが受けさせたい教育が、その学校にあれば問題ない。再編後の教育に期待が持てないから不安や不満だけが出る。</p> <p>説明会に保護者の参加が少ない、先生は多く発言されていたが、好意的に受け止められていなかった。押さえつけるように見受けられて、残念だった。</p> <p>子どもの教育について保護者たちが考え、希望が持てる、意見が出せる、そして自分たちで作っていくという意識が持てる、そういう環境や空気を作っていかななくては、地域の未来はないと考える。</p>	<p>急激な少子化社会の進行に伴い、コミュニティスクールの推進や特認校制度、小中高連携（一貫）教育など様々な施策に取り組んできましたが、これらについて総合的に検討いただくために設けた「少子化社会における義務教育のあり方検討委員会」で、保護者や教職員、学校運営協議会などから意見聴取したり、市民や保護者へアンケートを実施し、義務教育のあり方に関し状況把握に努め、併せて現在の教育環境及び教育行政上の課題など踏まえて、約2年を掛けて検討を重ね大町市のこれからの義務教育について提言されました。今回の学校再編基本計画では、同あり方検討委員会からの提言を受けて通学区域再編審議会で学校再編に関して具体的内容を審議し答申をいただいた事項を基本方針として取りまとめているものであります。</p> <p>学校再編基本計画は、あくまで学校再編の基本的事項を取りまとめて示した計画であるため、市の学校教育の基本理念については、本年度、市の第5次総合計画後期計画に併せて大綱を策定することとしております。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子どもたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいりたいと考えております。</p>
22	<p>小学校の1校は、西小にお願いしたい。古き伝統があり大町市のシンボルである。1万人を超える卒業生があり、中庭の低学年の遊び場、校舎の横を流れる小川、子どもたちが生き生きして自然を楽しんでいる姿は絶対に無くしてほしくありません。</p>	<p>大町・平地区の小中学校校地の選定にあたり、様々な視点からご意見を賜り感謝申し上げます。本校地の選定にあたっては、候補地について、それぞれ良い点または課題となる点等ご指摘やご意見等をいただいております。</p> <p>皆様からいただいたご意見等を参考とさせていただき、子どもたちにとって良好な教育環境を第一に考え、様々な教育的観点を総合的に判断し校地を決定してまいりたいと考えております。</p> <p>今後も皆様のご意見等を丁寧に伺いながら、大町の子どもたちにとって望ましい教育環境や教育条件の整備を最優先に、保護者や地域住民の皆様にご理解いただくよう説明に努めてまいりたいと考えております。</p>